

## 「明治150年」関連施策の推進について（冠称の付与）

### 1 経緯

平成30年は、明治元年から満150年の年にあたることから、政府では、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくために、地方公共団体や民間企業などとも一緒になって様々な取組を行うこととしている。

こうしたなか、「第38回全国豊かな海づくり大会」の対応について、水産庁から共催団体である豊かな海づくり大会推進委員会（以下「推進委員会」という。）に打診があり、本県や宮内庁の見解を踏まえ検討することとされた。

本県は、式典行事のなかに特別なプログラムを組み込むことは難しいが、大会名に「明治150年記念」の冠を付すことについての検討は可能であると回答。

宮内庁は、第38回全国豊かな海づくり大会を「明治150年記念」の冠を付して開催することについて異論はないとの見解。

これらを受け、推進委員会は平成30年2月5日開催の推進委員会の幹事会で「明治150年記念」の冠を付す形での開催について承認。

#### 【参考】他行事の対応

##### （1）国民体育大会（（公財）日本体育協会）

第73回国民体育大会（平成30年9月・福井県）を

「明治150年記念」を付して開催することを決定

※平成29年8月25日 第2回国民体育大会委員会において決定

##### （2）全国植樹祭（（公社）国土緑化推進機構）

対応予定なし。（第69回全国植樹祭（平成30年6月・福島県）は、「復興」が優先的なテーマになると考えられ、いくつも冠をつけることは想定しにくい。）

### 2 高知県実行委員会事務局の考え

本県は、幕末期に多くの人材を輩出し、現在、「志国高知 幕末維新博」を開催していることなどから、この節目の年に開催される本大会を「明治150年」に関連する取組として実施することとし、推進委員会に回答しているとおり、式典行事の限られた時間のなかに特別なプログラムを組み込むことは難しいため、冠を付しての開催としたい。

#### ○冠称案

明治150年記念

第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～

### 3 書面表決の結果

実行委員会委員等に対して書面審議を行った結果、承認多数、過半数以上の表決により、明治150年記念の冠称を付与することを決定する。